

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類 信託期間	追加型投信／海外／債券 無期限	
運用方針	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	
ベビーファンド の主要投資対象	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」および「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、各受益証券の基本組入比率は原則50%：50%とします。
マザーファンド の主要投資対象	しんきん欧州ソブリン債 マザーファンド	EMU（欧州経済通貨同盟）参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
	しんきん米国ソブリン債 マザーファンド	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
各ポートフォリオ のベンチマーク	欧州ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	米国ソブリン債 ポートフォリオ	FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。
	欧米ソブリン債 ポートフォリオ	各マザーファンドの受益証券のベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で当社が算出した合成指数をベンチマークとします。
組入制限	各ポートフォリオ共通	株式への直接投資は行いません。株式への投資は転換社債の転換および新株予約権の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
	各マザーファンド共通	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
収益分配方針	分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。	

## 運用報告書(全体版)

# しんきん 海外ソブリン債セレクション

欧州ソブリン債ポートフォリオ  
米国ソブリン債ポートフォリオ  
欧米ソブリン債ポートフォリオ

第81期（決算日：2023年8月15日）

第82期（決算日：2023年11月15日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。


さて、ご購入いただいております「しんきん海外ソブリン債セレクション」は2023年11月15日に第82期の決算を行いました。

ここに、第81期から第82期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社  
＜コールセンター＞ ☎ 0120-781812  
（土日、休日を除く）携帯電話からは03-5524-8181  
9：00～17：00

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

# 目 次

---

◇しんきん海外ソブリン債セレクション	頁
欧州ソブリン債ポートフォリオ	1
米国ソブリン債ポートフォリオ	11
欧米ソブリン債ポートフォリオ	21
分配金のお知らせ	32
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	33
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	37
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	46

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額	
	(分配落)	税分	み金	期騰落	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)			期騰落
	円		円		%	ポイント	%	百万円
73期(2021年8月16日)	9,812		45		0.3	253.28	0.6	285
74期(2021年11月15日)	9,699		45	△	0.7	252.21	△0.4	281
75期(2022年2月15日)	9,176		45	△	4.9	241.59	△4.2	265
76期(2022年5月16日)	8,856		45	△	3.0	234.67	△2.9	253
77期(2022年8月15日)	8,827		45		0.2	236.61	0.8	250
78期(2022年11月15日)	8,524		45	△	2.9	232.90	△1.6	244
79期(2023年2月15日)	8,227		45	△	3.0	227.13	△2.5	231
80期(2023年5月15日)	8,534		45		4.3	236.70	4.2	240
81期(2023年8月15日)	8,950		45		5.4	250.93	6.0	247
82期(2023年11月15日)	9,231		45		3.6	261.45	4.2	247

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

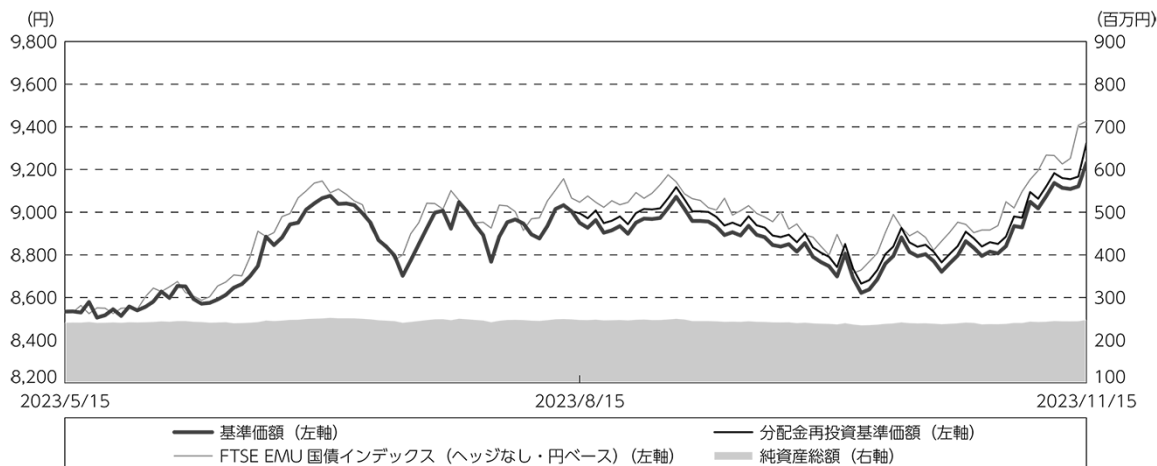
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし円ベース)	騰 落 率	
第81期	(期 首) 2023年 5 月 15 日	円 8,534	% -	ポイント 236.70	% -	% 96.2
	5 月 末	8,628	1.1	239.31	1.1	96.4
	6 月 末	9,039	5.9	252.64	6.7	96.0
	7 月 末	8,885	4.1	250.55	5.8	96.7
	(期 末) 2023年 8 月 15 日	8,995	5.4	250.93	6.0	96.5
第82期	(期 首) 2023年 8 月 15 日	8,950	-	250.93	-	96.5
	8 月 末	9,072	1.4	253.58	1.1	96.5
	9 月 末	8,699	△2.8	246.73	△1.7	96.1
	10 月 末	8,841	△1.2	250.98	0.0	96.6
	(期 末) 2023年 11 月 15 日	9,276	3.6	261.45	4.2	96.3

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第81期～第82期）の運用経過等（2023年5月16日～2023年11月15日）  
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2023年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、FTSE EMU国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として欧州経済通貨同盟(EMU)参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第80期末基準価額		8,534円	
要因	外国債券	キャピタル	△161円
		インカム	99円
	為替	901円	
	小計	839円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△52円	
第82期末基準価額		9,231円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。  
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

### <上昇要因>

- ・欧州中央銀行（ECB）がインフレ高進を抑制するために、積極的な金融引締めを進めたことで、日欧金利差の拡大が意識され、ユーロが対円で上昇したこと。

### <下落要因>

- ・欧州のインフレ高進を抑制するため、ECBが積極的な金融引締めを行ってきたことから、欧州主要国の金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

### <投資環境>

#### （欧州債券市況）

当作成期初以降、ECB政策理事会において政策金利の利上げが連続して決定される中、金利は上昇基調で推移しました。ただ、ドイツをはじめとする欧州各国の経済指標が落ち込み、欧州の景況への懸念が強まったことや、中国不動産市場および中国経済に対する警戒が強まったこと、欧米のインフレ鈍化傾向が続いたことなどを背景に、欧州国債金利は揉み合いながら緩やかに上昇する形となりました。一方で、当作成期末にかけては、ユーロ圏の2023年10月の購買担当者景気指数（PMI）の軟調な結果等を背景として、欧州経済の減速が市場で意識されたことを受けて、欧州国債金利は低下しました。

#### （為替市況：ユーロ円市場）

当作成期初から2023年6月末にかけては、ECBが金融引締めを積極的に進めていたことや、日銀の総裁交代後も日本の金融政策が直ちには変更されないとの理解が市場で広がったことから、大きくユーロ高円安が進行しました。7月以降は、ドイツの経済指標が大きな落ち込みを示したことや、欧州圏のインフレ率の鈍化を背景にECBが利上げペースを緩めるとの観測が広がると、ユーロ円は上値が抑えられる展開となりました。一方で、当作成期末にかけては、ECBのラガルド総裁が当面の利下げを排除する旨の発言を行ったこと等を受けて、再びユーロ高が進みました。

### <当ファンドのポートフォリオ>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

#### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2023年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.12年、時価最終利回りは3.10%となっています。

## <当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+9.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+10.5%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## <分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第81期、第82期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第81期	第82期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.500%	0.485%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,874	2,877

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 5 月 16 日～2023年 11 月 15 日)

項 目	第81期～第82期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 47	% 0.525	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(20)	(0.221)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(24)	(0.277)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 2 )	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.025	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	49	0.550	
作成期間の平均基準価額は、8,860円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

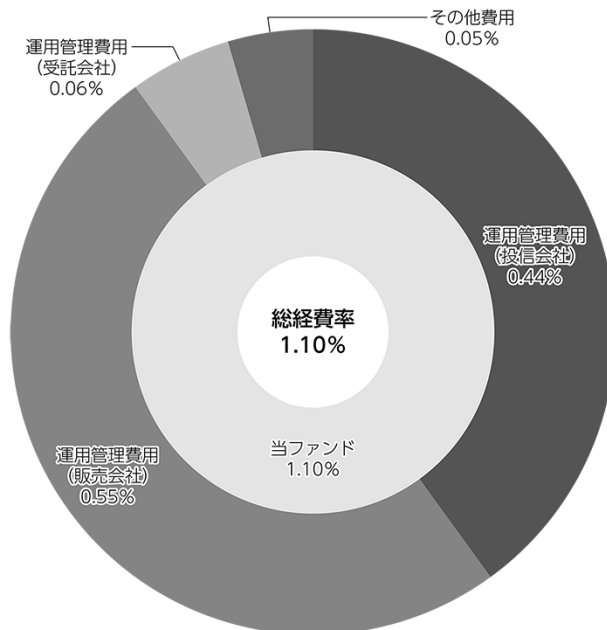
(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。



(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.10%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 欧州ソブリン債ポートフォリオ

### ○売買及び取引の状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第81期～第82期			
		設 定		解 約	
		口 数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		—	—	10,225	16,900

(注) 単位未満は切り捨て。

### ○利害関係人との取引状況等

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

### ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

### ○組入資産の明細

(2023年11月15日現在)

#### 親投資信託残高

銘	柄	第80期末	第82期末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		149,215	138,989	242,036

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド8,337,228千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年11月15日現在)

項 目	第82期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	242,036	97.1
コール・ローン等、その他	7,167	2.9
投資信託財産総額	249,203	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年11月15日現在における外貨建純資産(14,464,523千円)の投資信託財産総額(14,518,219千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年11月15日現在、1ユーロ=163.80円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第81期末	第82期末
	2023年8月15日現在	2023年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	249,112,012	249,203,934
コール・ローン等	7,011,846	7,167,135
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	242,100,166	242,036,799
(B) 負債	1,890,678	1,844,882
未払収益分配金	1,243,019	1,205,865
未払信託報酬	644,170	635,550
未払利息	16	21
その他未払費用	3,473	3,446
(C) 純資産総額(A-B)	247,221,334	247,359,052
元本	276,226,557	267,970,104
次期繰越損益金	△ 29,005,223	△ 20,611,052
(D) 受益権総口数	276,226,557口	267,970,104口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,950円	9,231円

(注1) 当ポートフォリオの第81期首元本額は282,165,618円、当作成期(第81期～第82期)中における追加設定元本額は3,737,295円、同一部解約元本額は17,932,809円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第81期0.8950円、第82期0.9231円です。

○損益の状況

項 目	第81期	第82期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 484	△ 434
支払利息	△ 484	△ 434
(B) 有価証券売買損益	13,286,826	9,370,945
売買益	13,392,760	9,450,409
売買損	△ 105,934	△ 79,464
(C) 信託報酬等	△ 648,402	△ 639,626
(D) 当期損益金(A+B+C)	12,637,940	8,730,885
(E) 前期繰越損益金	△43,334,900	△30,818,719
(F) 追加信託差損益金	2,934,756	2,682,647
(配当等相当額)	( 59,236,263)	( 57,566,870)
(売買損益相当額)	(△56,301,507)	(△54,884,223)
(G) 計(D+E+F)	△27,762,204	△19,405,187
(H) 収益分配金	△ 1,243,019	△ 1,205,865
次期繰越損益金(G+H)	△29,005,223	△20,611,052
追加信託差損益金	2,934,756	2,682,647
(配当等相当額)	( 59,237,431)	( 57,567,536)
(売買損益相当額)	(△56,302,675)	(△54,884,889)
分配準備積立金	20,177,874	19,536,863
繰越損益金	△52,117,853	△42,830,562

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第81期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,276,854円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(59,237,431円)および分配準備積立金(20,144,039円)より分配対象収益は80,658,324円(10,000口当たり2,919円)であり、うち1,243,019円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第82期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,259,760円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(57,567,536円)および分配準備積立金(19,482,968円)より分配対象収益は78,310,264円(10,000口当たり2,922円)であり、うち1,205,865円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額		
		税金	込配	み金	期騰落	中率			FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落
	円			円		%	ポイント	%	%	百万円
73期(2021年8月16日)	9,789			45		1.9	407.64	2.3	96.9	361
74期(2021年11月15日)	9,995			45		2.6	419.17	2.8	97.5	359
75期(2022年2月15日)	9,723			45		△2.3	412.03	△1.7	96.9	322
76期(2022年5月16日)	10,240			45		5.8	437.02	6.1	96.4	332
77期(2022年8月15日)	10,448			45		2.5	450.53	3.1	96.9	323
78期(2022年11月15日)	10,379			45		△0.2	449.11	△0.3	96.8	316
79期(2023年2月15日)	9,952			45		△3.7	438.27	△2.4	96.7	306
80期(2023年5月15日)	10,368			45		4.6	455.48	3.9	96.8	321
81期(2023年8月15日)	10,663			45		3.3	469.96	3.2	97.1	323
82期(2023年11月15日)	10,919			45		2.8	485.77	3.4	97.0	334

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

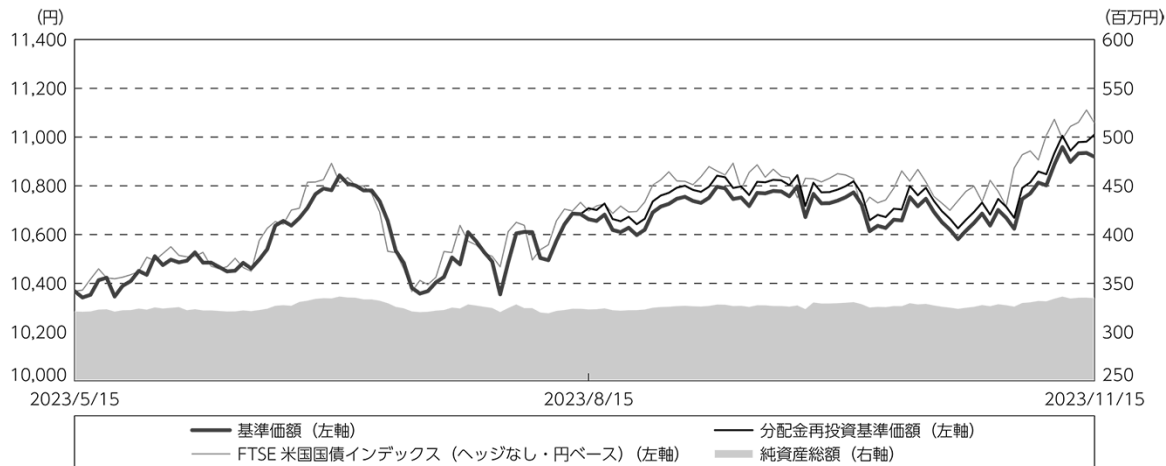
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基準 価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	F T S E 米 国 国 債 イ ン デ ッ ク ス (ヘッジなし・円ベース)	騰 落 率	
第81期	(期 首) 2023年 5 月 15 日	円 10,368	% —	ポイント 455.48	% —	% 96.8
	5 月 末	10,497	1.2	463.48	1.8	97.4
	6 月 末	10,809	4.3	475.93	4.5	97.3
	7 月 末	10,486	1.1	466.21	2.4	97.1
	(期 末) 2023年 8 月 15 日	10,708	3.3	469.96	3.2	97.1
第82期	(期 首) 2023年 8 月 15 日	10,663	—	469.96	—	97.1
	8 月 末	10,755	0.9	475.27	1.1	97.2
	9 月 末	10,753	0.8	476.42	1.4	97.1
	10 月 末	10,624	△0.4	477.67	1.6	97.0
	(期 末) 2023年 11 月 15 日	10,964	2.8	485.77	3.4	97.0

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

○ 当作成期中（第81期～第82期）の運用経過等（2023年5月16日～2023年11月15日）  
 < 当作成期中の基準価額等の推移 >



- (注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金再投資基準価額およびFTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)は、作成期首(2023年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

< 基準価額の主な変動要因 >

当ポートフォリオは、FTSE米国国債インデックス(ヘッジなし・円ベース)をベンチマークとし、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」を通じて、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第80期末基準価額		10,368円	
要因	外国債券	キャピタル	△501円
		インカム	140円
	為替	1,063円	
	小計	702円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△61円	
第82期末基準価額		10,919円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。  
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

### ＜上昇要因＞

- ・米連邦準備制度理事会（F R B）が積極的な金融引締めを続け、日米金利差が拡大したことから、米ドルが対円で上昇したこと。

### ＜下落要因＞

- ・F R Bによって積極的な利上げが行われ、長期にわたり高金利を維持するとの観測が市場で強まったことや、米国国債の格下げや増発による需給環境の悪化が懸念されたことなどから、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

### ＜投資環境＞

#### （米国国債市況）

当作成期初は、米消費者物価指数（C P I）などがインフレ高進の鈍化を示したものの、米国経済の堅調さを示す経済指標が相次いだことや、F R B高官によるタカ派発言が散見されたことから、追加利上げ観測が広がり、米国債金利は上昇しました。その後も米国経済の底堅さを受けた米国債金利の上昇が続く中、2023年8月には米国国債の格下げや増発が公表され、需給の悪化懸念が広がると米国債金利はさらに上昇しました。また、9月と10月においても、F R Bが高水準の政策金利を長期間維持するとの見方が市場で広がったことで、米国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、11月初めに行われた米連邦公開市場委員会（F O M C）におけるパウエルF R B議長が発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、当作成期末にかけて米国債金利は低下しました。

#### （為替市況：ドル円市場）

当作成期初から2023年6月末にかけては、米国の金融引締めや、日銀による金融緩和継続の姿勢が意識され、ドル高円安基調で推移しました。しかし、7月に内田日銀副総裁によるインタビュー記事が注目され、政策修正が意識されると、一時的に円が買われる場面もありました。8月には日銀によって政策変更が行われましたが、さらなる金融引締めのタイミングが遠いであろうことが市場で意識されたことや、米国経済の底堅さを背景とした米国債金利の上昇を受けて、8月以降は再び円安基調での推移となりました。

### ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整しています。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2023年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.87年、時価最終利回りは4.80%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：I B R D）、米州開発銀行（I A D B）、アジア開発銀行（A D B）発行の債券を組み入れています。



## <当ファンドのベンチマークとの差異>

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+6.2%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+6.7%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## <分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第81期、第82期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第81期	第82期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
当期分配金	45	45
（対基準価額比率）	0.420%	0.410%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	3,742	3,762

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

引き続き、当ポートフォリオについては、今後も親投資信託である「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券への投資を通じ、外貨建資産の組入比率が高位となるように調整していきます。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 5 月 16 日～2023年 11 月 15 日)

項 目	第81期～第82期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 56	% 0.525	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(24)	(0.221)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(29)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.015	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1 )	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	58	0.540	
作成期間の平均基準価額は、10,654円です。			

(注1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

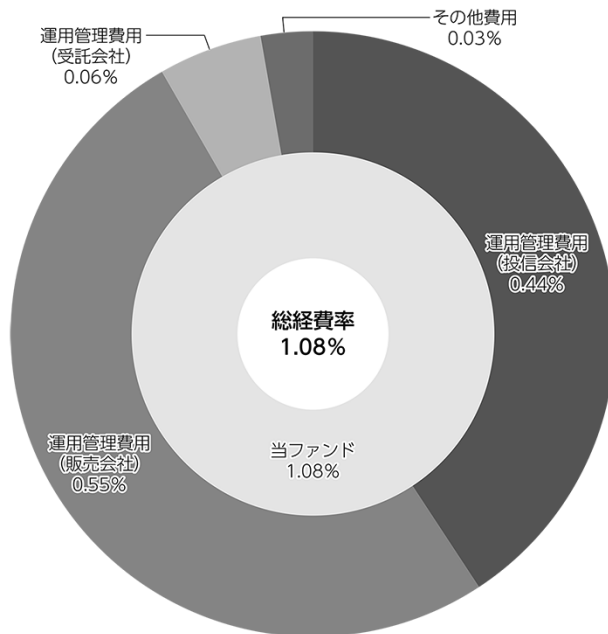
(注3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 米国ソブリン債ポートフォリオ

### ○売買及び取引の状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

#### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第81期～第82期			
		設		約	
		口	数	口	数
			金額		金額
		千口	千円	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		3,908	8,000	7,358	15,000

(注) 単位未満は切り捨て。

### ○利害関係人との取引状況等

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

### ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

### ○組入資産の明細

(2023年11月15日現在)

#### 親投資信託残高

銘	柄	第80期末		第82期末	
		口	数	口	数
				評	価
		千口	千円	千口	千円
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		159,327	155,877	329,712	

(注) 単位未満は切り捨て。親投資信託合計の受益権口数は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,739,164千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年11月15日現在)

項 目	第82期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	329,712	97.8
コール・ローン等、その他	7,322	2.2
投資信託財産総額	337,034	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年11月15日現在における外貨建純資産(14,207,954千円)の投資信託財産総額(14,254,963千円)に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年11月15日現在、1ドル=150.66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第81期末	第82期末
	2023年8月15日現在	2023年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	325,471,066	337,034,154
コール・ローン等	6,866,505	7,321,445
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	318,604,561	329,712,709
(B) 負債	2,222,591	2,244,305
未払収益分配金	1,364,207	1,379,807
未払信託報酬	853,810	859,816
未払利息	16	21
その他未払費用	4,558	4,661
(C) 純資産総額(A-B)	323,248,475	334,789,849
元本	303,157,300	306,623,861
次期繰越損益金	20,091,175	28,165,988
(D) 受益権総口数	303,157,300口	306,623,861口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,663円	10,919円

(注1) 当ポートフォリオの第81期首元本額は309,765,019円、当作成期(第81期～第82期)中における追加設定元本額は12,159,158円、同一部解約元本額は15,300,316円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第81期1.0663円、第82期1.0919円です。

○損益の状況

項 目	第81期	第82期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 490	△ 585
支払利息	△ 490	△ 585
(B) 有価証券売買損益	11,064,132	10,081,660
売買益	11,294,659	10,111,080
売買損	△ 230,527	△ 29,420
(C) 信託報酬等	△ 859,161	△ 865,307
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,204,481	9,215,768
(E) 前期繰越損益金	41,760,404	50,026,407
(F) 追加信託差損益金	△30,509,503	△29,696,380
(配当等相当額)	( 54,935,620)	( 56,905,170)
(売買損益相当額)	(△85,445,123)	(△86,601,550)
(G) 計(D+E+F)	21,455,382	29,545,795
(H) 収益分配金	△ 1,364,207	△ 1,379,807
次期繰越損益金(G+H)	20,091,175	28,165,988
追加信託差損益金	△30,509,503	△29,696,380
(配当等相当額)	( 54,939,505)	( 56,910,259)
(売買損益相当額)	(△85,449,008)	(△86,606,639)
分配準備積立金	58,514,090	58,465,618
繰越損益金	△ 7,913,412	△ 603,250

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第81期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,909,800円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(54,939,505円)および分配準備積立金(57,968,497円)より分配対象収益は114,817,802円(10,000口当たり3,787円)であり、うち1,364,207円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第82期計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,995,987円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(56,910,259円)および分配準備積立金(57,849,438円)より分配対象収益は116,755,684円(10,000口当たり3,807円)であり、うち1,379,807円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

○最近10期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額			ベンチマーク		債組入比率	純資産額	
		税分	込配	み期騰落	騰落	騰落			中率
	円		円		%	ポイント	%	百万円	
73期(2021年8月16日)	9,668		45		1.1	18,555.20	1.5	97.3	552
74期(2021年11月15日)	9,714		45		0.9	18,777.47	1.2	97.6	549
75期(2022年2月15日)	9,319		45		△3.6	18,223.95	△2.9	96.8	525
76期(2022年5月16日)	9,411		45		1.5	18,502.05	1.5	96.6	524
77期(2022年8月15日)	9,495		45		1.4	18,871.56	2.0	97.0	521
78期(2022年11月15日)	9,307		45		△1.5	18,705.23	△0.9	97.4	506
79期(2023年2月15日)	8,948		45		△3.4	18,255.35	△2.4	97.4	474
80期(2023年5月15日)	9,308		45		4.5	19,003.26	4.1	97.4	492
81期(2023年8月15日)	9,670		45		4.4	19,878.13	4.6	97.6	513
82期(2023年11月15日)	9,942		45		3.3	20,633.46	3.8	97.5	525

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

●ベンチマークに関して

※ベンチマークはFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）を50%の配分比率で算出した合成指数（設定日2003年7月1日を10,000として指数化）です。

FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）

※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。

※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

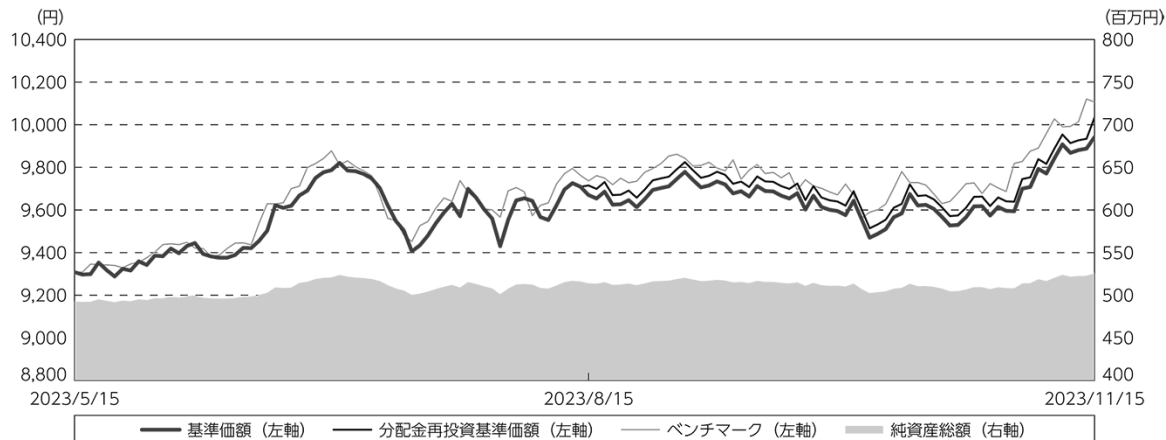
決算期	年 月 日	基 準	価 額		ベンチ マ ー ク		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率		騰 落 率		
第81期	(期 首)	円		%	ポイント	%	%
	2023年5月15日	9,308		—	19,003.26	—	97.4
	5月末	9,419		1.2	19,275.42	1.4	97.8
	6月末	9,785		5.1	20,070.05	5.6	97.5
	7月末	9,554		2.6	19,782.94	4.1	97.7
第82期	(期 末)						
	2023年8月15日	9,715		4.4	19,878.13	4.6	97.6
	(期 首)						
	2023年8月15日	9,670		—	19,878.13	—	97.6
	8月末	9,779		1.1	20,095.77	1.1	97.5
9月末	9,576		△1.0	19,847.73	△0.2	97.3	
10月末	9,594		△0.8	20,045.51	0.8	97.7	
(期 末)							
2023年11月15日	9,987		3.3	20,633.46	3.8	97.5	

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。



○当作成期中（第81期～第82期）の運用経過等（2023年5月16日～2023年11月15日）  
 <当作成期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注2) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、作成期首(2023年5月15日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるよう運用を行っています。

当作成期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

基準価額の変動要因

第80期末基準価額		9,308円	
要因	外国債券	キャピタル	△317円
		インカム	118円
	為替	ドル	487円
		ユーロ	490円
小計		778円	
分配金		△90円	
その他変動要因(信託報酬含む)		△54円	
第82期末基準価額		9,942円	

※要因分析の数値は概算値です。実際の数値と異なる可能性があります。傾向を知るための参考としてご覧ください。  
 ※キャピタルとは金利変動等による債券価格の上下動に伴う売買損益(評価損益含む)、インカムとは利息等による収益です。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

#### <上昇要因>

- ・欧州中央銀行（ECB）がインフレ高進を抑制するために、積極的な金融引締めを進めたことで、日欧金利差の拡大が意識され、ユーロが対円で上昇したこと。

#### <下落要因>

- ・欧州のインフレ高進を抑制するため、ECBが積極的な金融引締めを行ってきたことから、欧州主要国の金利が上昇し、欧州債券価格が下落したこと。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

#### <上昇要因>

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）が積極的な金融引締めを続け、日米金利差が拡大したことから、米ドルが対円で上昇したこと。

#### <下落要因>

- ・FRBによって積極的な利上げが行われ、長期にわたり高金利を維持するとの観測が市場で強まったことや、米国国債の格下げや増発による需給環境の悪化が懸念されたことなどから、米国債金利が上昇し、米国債券価格が下落したこと。

## <投資環境>

### (欧州債券市況)

当作成期初以降、ECB政策理事会において政策金利の利上げが連続して決定される中、金利は上昇基調で推移しました。ただ、ドイツをはじめとする欧州各国の経済指標が落ち込み、欧州の景況への懸念が強まったことや、中国不動産市場および中国経済に対する警戒が強まったこと、欧米のインフレ鈍化傾向が続いたことなどを背景に、欧州国債金利は揉み合いながら緩やかに上昇する形となりました。一方で、当作成期末にかけては、ユーロ圏の2023年10月の購買担当者景気指数（PMI）の軟調な結果等を背景として、欧州経済の減速が市場で意識されたことを受けて、欧州国債金利は低下しました。

### (米国国債市況)

当作成期初は、米消費者物価指数（CPI）などがインフレ高進の鈍化を示したものの、米国経済の堅調さを示す経済指標が相次いだことや、FRB高官によるタカ派発言が散見されたことから、追加利上げ観測が広がり、米国債金利は上昇しました。その後も米国経済の底堅さを受けた米国債金利の上昇が続く中、2023年8月には米国国債の格下げや増発が公表され、需給の悪化懸念が広がると米国債金利はさらに上昇しました。また、9月と10月においても、FRBが高水準の政策金利を長期間維持するとの見方が市場で広がったことで、米国債金利は上昇基調で推移しました。一方で、11月初めに行われた米連邦公開市場委員会（FOMC）におけるパウエルFRB議長の発言が利上げ終了を示唆するものと市場で受け止められ、当作成期末にかけて米国債金利は低下しました。

### (為替市況：ユーロ円市場)

当作成期初から2023年6月末にかけては、ECBが金融引締めを積極的に進めていたことや、日銀の総裁交代後も日本の金融政策が直には変更されないとの理解が市場で広がったことから、大きくユーロ高円安が進行しました。7月以降は、ドイツの経済指標が大きな落ち込みを示したことや、欧州圏のインフレ率の鈍化を背景にECBが利上げペースを緩めるとの観測が広がると、ユーロ円は上値が抑えられる展開となりました。

た。一方で、当作成期末にかけては、ECBのラガルド総裁が当面の利下げを排除する旨の発言を行ったこと等を受けて、再びユーロ高が進みました。

### （為替市況：ドル円市場）

当作成期初から2023年6月末にかけては、米国の金融引締めや、日銀による金融緩和継続の姿勢が意識され、ドル高円安基調で推移しました。しかし、7月に内田日銀副総裁によるインタビュー記事が注目され、政策修正が意識されると、一時的に円が買われる場面もありました。8月には日銀によって政策変更が行われましたが、さらなる金融引締めのタイミングが遠いであろうことが市場で意識されたことや、米国経済の底堅さを背景とした米国債金利の上昇を受けて、8月以降は再び円安基調での推移となりました。

### ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当ポートフォリオは、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整しています。

#### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。当作成期末の2023年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーション（金利感応度）は7.12年、時価最終利回りは3.10%となっています。

#### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としています。

当作成期末の2023年11月15日時点におけるファンドの修正デュレーションは5.87年、時価最終利回りは4.80%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

### ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当作成期の基準価額の騰落率（分配金再投資ベース）は+7.8%となり、一方で同期間のベンチマークの騰落率は+8.6%となりました。

この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## <分配金>

収益分配金については、各期とも経費控除後の配当等収益や基準価額水準等を勘案して、第81期、第82期は、1万口当たり45円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第81期	第82期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
当期分配金	45	45
(対基準価額比率)	0.463%	0.451%
当期の収益	45	45
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	1,656	1,667

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## <今後の運用方針>

引き続き、運用の基本方針に従い、親投資信託である「しんきん欧州ソブリン債マザーファンド」と「しんきん米国ソブリン債マザーファンド」の受益証券へ約50%ずつ投資を行い、ユーロと米ドル建債券の組入比率が高位となるように調整し運用を行っていきます。

### ●しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

欧州のソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。投資国やウェイトについては、マクロ経済分析等のファンダメンタル分析、債券市場分析および格付動向などを勘案して決定します。

### ●しんきん米国ソブリン債マザーファンド

米国国債に加えて、国際機関債でポートフォリオを構成し、これらの組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとしてポートフォリオを構築していきます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年 5 月 16 日～2023年 11 月 15 日)

項 目	第81期～第82期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 51	% 0.525	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(21)	(0.221)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(27)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 3 )	(0.028)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.020	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 2 )	(0.017)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	53	0.545	
作成期間の平均基準価額は、9,617円です。			

(注 1) 作成期間の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

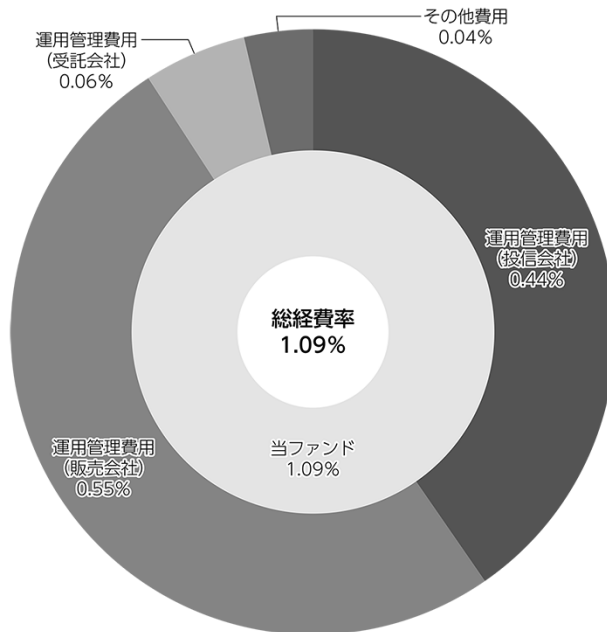
(注 3) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注 4) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第 3 位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘	柄	第81期～第82期			
		設		解	
		口	金	口	金
		数	額	数	額
		千口	千円	千口	千円
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		1,817	3,000	2,682	4,500
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		—	—	3,115	6,500

(注) 単位未满是切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年5月16日～2023年11月15日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2023年11月15日現在)

親投資信託残高

銘	柄	第80期末		第82期末				
		口	数	口	数	評	価	額
		千口		千口		千円		
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド		152,159		151,294		263,464		
しんきん米国ソブリン債マザーファンド		124,682		121,566		257,138		

(注) 単位未满是切り捨て。親投資信託合計の受益権口数はしんきん欧州ソブリン債マザーファンド8,337,228千口、しんきん米国ソブリン債マザーファンド6,739,164千口です。

○投資信託財産の構成

(2023年11月15日現在)

項 目	第82期末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド	263,464	49.8
しんきん米国ソブリン債マザーファンド	257,138	48.6
コール・ローン等、その他	8,815	1.6
投資信託財産総額	529,417	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきん欧州ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年11月15日現在における外貨建純資産(14,464,523千円)の投資信託財産総額(14,518,219千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) しんきん米国ソブリン債マザーファンドにおいて、2023年11月15日現在における外貨建純資産(14,207,954千円)の投資信託財産総額(14,254,963千円)に対する比率は99.7%です。

(注4) 外貨建資産は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年11月15日現在、1ドル=150.66円、1ユーロ=163.80円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第81期末	第82期末
	2023年8月15日現在	2023年11月15日現在
	円	円
(A) 資産	517,703,887	529,417,220
コール・ローン等	8,705,375	8,814,606
しんきん欧州ソブリン債マザーファンド(評価額)	253,312,684	263,464,557
しんきん米国ソブリン債マザーファンド(評価額)	255,685,828	257,138,057
(B) 負債	3,728,112	3,734,125
未払収益分配金	2,391,867	2,379,474
未払信託報酬	1,329,156	1,347,425
未払利息	20	26
その他未払費用	7,069	7,200
(C) 純資産総額(A-B)	513,975,775	525,683,095
元本	531,526,153	528,772,012
次期繰越損益金	△ 17,550,378	△ 3,088,917
(D) 受益権総口数	531,526,153口	528,772,012口
1万円当たり基準価額(C/D)	9,670円	9,942円

(注1) 当ポートフォリオの第81期首元本額は528,960,605円、当作成期(第81期～第82期)中における追加設定元本額は7,416,333円、同一部解約元本額は7,604,926円です。

(注2) 1口当たりの純資産額は、第81期0.9670円、第82期0.9942円です。



○損益の状況

項 目	第81期	第82期
	2023年5月16日～ 2023年8月15日	2023年8月16日～ 2023年11月15日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 467	△ 527
支払利息	△ 467	△ 527
(B) 有価証券売買損益	22,794,586	18,107,622
売買益	22,884,666	18,117,332
売買損	△ 90,080	△ 9,710
(C) 信託報酬等	△ 1,336,943	△ 1,355,391
(D) 当期損益金(A+B+C)	21,457,176	16,751,704
(E) 前期繰越損益金	△23,868,590	△ 4,755,623
(F) 追加信託差損益金	△12,747,097	△12,705,524
(配当等相当額)	( 40,434,202)	( 40,408,274)
(売買損益相当額)	(△53,181,299)	(△53,113,798)
(G) 計(D+E+F)	△15,158,511	△ 709,443
(H) 収益分配金	△ 2,391,867	△ 2,379,474
次期繰越損益金(G+H)	△17,550,378	△ 3,088,917
追加信託差損益金	△12,747,097	△12,705,524
(配当等相当額)	( 40,437,577)	( 40,409,335)
(売買損益相当額)	(△53,184,674)	(△53,114,859)
分配準備積立金	47,627,872	47,768,440
繰越損益金	△52,431,153	△38,151,833

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<分配金の計算過程>

第81期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,882,569円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,437,577円)および分配準備積立金(47,137,170円)より分配対象収益は90,457,316円(10,000口当たり1,701円)であり、うち2,391,867円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

第82期計算期間末における費用控除後の配当等収益(2,942,449円)、費用控除後の有価証券等損益額(0.0円)、信託約款に規定する収益調整金(40,409,335円)および分配準備積立金(47,205,465円)より分配対象収益は90,557,249円(10,000口当たり1,712円)であり、うち2,379,474円(10,000口当たり45円)を分配金額としています。

## ○分配金のお知らせ

### 1万口当たり分配金（税込み）

	第81期	第82期
欧州ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
米国ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円
欧米ソブリン債ポートフォリオ	45円	45円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、各決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、各決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

- (注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。
- (注2) 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

### <約款変更のお知らせ>

新NISA制度における成長投資枠の対象商品とするため、デリバティブ取引を行う目的について各ポートフォリオの投資信託約款に所要の変更を行いました。（2023年11月11日実施）

## ○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2023年11月15日現在)

## &lt;しんきん欧州ソブリン債マザーファンド&gt;

下記は、しんきん欧州ソブリン債マザーファンド全体(8,337,228千口)の内容です。

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第82期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
ドイツ	22,400	22,627	3,706,339	25.5	—	18.6	5.9	1.1
フランス	31,450	30,144	4,937,689	34.0	—	22.5	6.6	4.9
オランダ	6,100	5,325	872,336	6.0	—	4.7	1.3	—
スペイン	18,650	17,948	2,939,964	20.3	—	13.6	5.2	1.4
ベルギー	7,100	6,574	1,076,824	7.4	—	5.8	1.2	0.4
オーストリア	5,400	4,633	758,980	5.2	—	2.9	1.8	0.5
合 計	91,100	87,253	14,292,133	98.4	—	68.1	21.9	8.4

(注1) 邦貨換算金額は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

参考情報

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			第82期末				償還年月日
			利率	額面金額	評価額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	2,600	2,146	351,520	2031/8/15
		DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,800	2,493	408,505	2029/2/15
		DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,600	2,465	403,922	2026/2/15
		DBR 1.000 08/15/25	1.0	1,000	964	158,054	2025/8/15
		DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,897	474,618	2032/8/15
		DBR 3.250 07/04/42	3.25	1,300	1,372	224,850	2042/7/4
		DBR 4.000 01/04/37	4.0	3,400	3,855	631,451	2037/1/4
		DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,500	2,735	448,151	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,100	3,695	605,264	2034/7/4
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,500	1,969	322,645	2031/11/25
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	2,800	2,688	440,351	2025/5/25
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	2,750	2,575	421,868	2027/5/25
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	2,300	1,903	311,796	2034/5/25
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	1,600	1,260	206,542	2036/5/25
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,700	2,436	399,029	2031/5/25
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	1,700	1,686	276,274	2024/5/25
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	3,000	2,924	479,039	2030/5/25
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,280	537,410	2027/10/25
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	2,900	2,762	452,428	2045/5/25
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,900	3,092	506,542	2038/10/25
		FRTR 4.500 04/25/41	4.5	700	790	129,462	2041/4/25
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,300	2,773	454,300	2032/10/25
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	403	66,155	2031/7/15
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	434	71,182	2029/7/15
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,400	944	154,787	2040/1/15
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	1,200	1,115	182,726	2027/7/15
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	2,500	2,426	397,483	2033/1/15
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,700	3,225	528,359	2029/7/30
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,600	2,455	402,182	2027/4/30
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	2,250	2,181	357,290	2026/4/30
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,751	450,698	2030/7/30
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,300	1,272	208,500	2025/10/31
		SPGB 2.350 07/30/33	2.35	400	359	58,891	2033/7/30
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	2,700	2,791	457,215	2037/1/31
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,700	2,911	476,826	2041/7/30
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	400	385	63,082	2025/6/22
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	1,100	1,022	167,509	2027/6/22
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,300	1,167	191,186	2029/6/22
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,500	1,013	166,090	2047/6/22
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,400	1,367	223,986	2034/6/22
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,400	1,617	264,968	2035/3/28
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	500	400	65,626	2031/2/20
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	700	644	105,489	2027/4/20
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	1,000	912	149,491	2028/2/20
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	500	482	78,985	2025/10/20
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,300	897	147,013	2047/2/20
		RAGB 2.400 05/23/34	2.4	1,400	1,296	212,373	2034/5/23
合 計						14,292,133	

(注1) 邦貨換算金額は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

<しんきん米国ソブリン債マザーファンド>

下記は、しんきん米国ソブリン債マザーファンド全体(6,739,164千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	第82期末							
	額面金額	評価額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	105,750	93,149	14,033,895	98.4	—	50.6	20.1	27.7
合計	105,750	93,149	14,033,895	98.4	—	50.6	20.1	27.7

(注1) 邦貨換算金額は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) —印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	第82期末						
	利率	額面金額	評価額		償還年月日		
			外貨建金額	邦貨換算金額			
アメリカ	%	千ドル	千ドル	千円			
国債証券	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	4,100	2,604	392,388	2041/8/15	
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	4,300	2,922	440,352	2046/5/15	
	T-BOND 3.000 02/15/47	3.0	3,000	2,233	336,460	2047/2/15	
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,600	3,671	553,102	2042/2/15	
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,700	2,804	422,458	2048/5/15	
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,189	329,936	2039/2/15	
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,376	508,712	2044/2/15	
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	3,300	3,172	478,009	2040/5/15	
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,367	356,737	2037/2/15	
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,137	171,409	2029/2/15	
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,052	158,575	2026/11/15	
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,600	1,245	187,618	2030/8/15	
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	3,450	2,720	409,872	2030/11/15	
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,200	4,009	604,025	2025/1/15	
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	2,700	2,139	322,358	2031/8/15	
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	2,500	1,986	299,245	2031/11/15	
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,600	1,343	202,458	2030/2/15	
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	3,900	3,644	549,014	2026/2/15	
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,436	517,789	2026/5/15	
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	1,900	1,632	245,999	2029/8/15	
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,663	702,648	2025/8/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/24	2.25	900	873	131,663	2024/11/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	4,500	4,281	644,998	2025/11/15	
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	1,000	918	138,383	2027/11/15	
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	4,500	4,402	663,218	2024/8/15	
	T-NOTE 2.500 05/15/24	2.5	3,500	3,450	519,791	2024/5/15	

参考情報

銘		柄		第82期末				
				利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千ドル	千ドル	千円		
国債証券      特殊債券 (除く金融債)	T-NOTE	2.625	01/31/26	2.625	1,500	1,434	216,067	2026/1/31
	T-NOTE	2.625	02/15/29	2.625	4,000	3,656	550,921	2029/2/15
	T-NOTE	2.750	02/28/25	2.75	600	582	87,733	2025/2/28
	T-NOTE	2.875	05/31/25	2.875	5,100	4,943	744,804	2025/5/31
	T-NOTE	3.125	11/15/28	3.125	2,300	2,161	325,686	2028/11/15
	ASIA	1.875	01/24/30	1.875	5,300	4,517	680,640	2030/1/24
	IADB	2.125	01/15/25	2.125	3,400	3,281	494,397	2025/1/15
	IBRD	0.750	11/24/27	0.75	2,200	1,890	284,784	2027/11/24
	IBRD	1.875	10/27/26	1.875	2,600	2,400	361,627	2026/10/27
合 計						14,033,895		

(注1) 邦貨換算金額は、2023年11月15日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきん欧州ソブリン債マザーファンド

第20期

(決算日：2023年2月8日)

しんきん欧州ソブリン債マザーファンドの第20期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	<p>①主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。</p> <p>②FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。</p> <p>③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。</p> <p>④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。</p> <p>⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。</p>
主要投資対象	EMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	<p>①株式への投資は行いません。</p> <p>②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p> <p>④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。</p>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純資産総額
	期騰落	中率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
	円	%	ポイント		%	百万円
16期(2019年2月8日)	15,537	△3.9	221.60	△5.3	98.5	10,341
17期(2020年2月10日)	15,958	2.7	231.99	4.7	98.5	13,040
18期(2021年2月8日)	16,988	6.5	249.57	7.6	98.3	12,436
19期(2022年2月8日)	16,661	△1.9	244.25	△2.1	98.3	12,675
20期(2023年2月8日)	15,046	△9.7	225.13	△7.8	98.2	12,701

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率
	騰落	率	FTSE EMU 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落	
(期首) 2022年2月8日	円	%	ポイント		%
	16,661	—	244.25	—	98.3
2月末	16,267	△2.4	240.64	△1.5	98.1
3月末	16,619	△0.3	245.24	0.4	97.4
4月末	16,214	△2.7	241.49	△1.1	97.9
5月末	16,067	△3.6	236.26	△3.3	97.9
6月末	16,014	△3.9	238.90	△2.2	98.1
7月末	16,277	△2.3	238.76	△2.2	98.4
8月末	15,609	△6.3	231.49	△5.2	98.4
9月末	15,180	△8.9	226.47	△7.3	98.2
10月末	15,922	△4.4	235.04	△3.8	98.0
11月末	15,764	△5.4	235.42	△3.6	98.4
12月末	14,886	△10.7	219.88	△10.0	97.6
2023年1月末	15,125	△9.2	226.13	△7.4	98.1
(期末) 2023年2月8日	15,046	△9.7	225.13	△7.8	98.2

(注) 騰落率は期首比です。

※1 「FTSE EMU国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、EMU加盟国の国債で構成されています。

※2 「FTSE EMU国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。

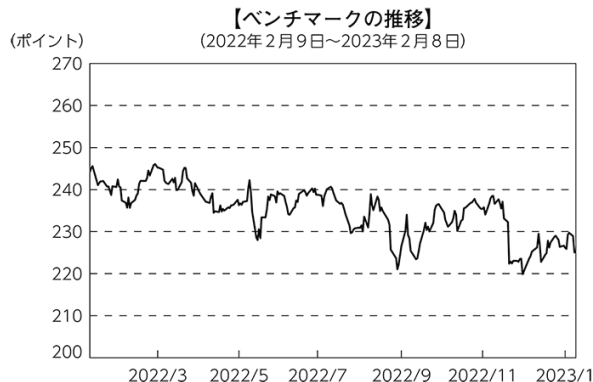
※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。

※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。



○第20期の運用経過等（2022年2月9日～2023年2月8日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として欧州経済通貨同盟（EMU）参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・欧州の景気減速への懸念が高まっているものの、欧州中央銀行（ECB）政策理事会が継続的な利上げを実施していることや、イギリス財政の悪化懸念を背景に、欧州国債金利が上昇基調で推移したことを受けて、ユーロ高円安となったこと。

<下落要因>

- ・欧米の景気減速への懸念がくすぶっている一方で、高インフレを抑制するため、ECB政策理事会によって積極的な金融引き締めが行われたことを受け、ドイツを中心とした欧州国債全体の金利が上昇（債券価格は下落）したこと。

## ＜投資環境＞

### （欧州債券市況）

当期は、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきており、今後も継続的な利上げが予想されていることや、2022年9月にイギリス政府による大規模な減税政策と国債増発計画の発表を受けて、イギリスの長期金利が急上昇した流れがドイツ国債を中心とした欧州国債全体へ波及し、欧州金利は上昇基調で推移しました。

### （為替市況：ユーロ円市場）

当初初から、インフレ高進を抑制するためにECBが大幅な利上げを行ってきたこと等を背景に、ユーロが買われやすい展開となった一方で、イギリス政権が発表した経済対策に伴う財政悪化への懸念が欧州全体へと広がり、ユーロ安となる場面もありました。その後は、日本政府・日本銀行が円買いドル売り介入を実施したと見られ、ユーロ円でも一時的に急激な円高が進む場面も見られましたが、2022年10月以降のECB政策理事会でも継続的な利上げが引き続き行われるという見方から、ユーロが買われやすい展開となりました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、欧州ソブリン債の組入比率を高位に保ち、FTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

国別配分については、ドイツ、フランス、スペイン、オランダ、オーストリアおよびベルギーの各国債でポートフォリオを構築しています。

投資国各国の国債インデックスに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2023年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは7.47年、時価最終利回りは2.71%となっています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は $\Delta 9.7\%$ となりました。一方、ベンチマークであるFTSE EMU国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は $\Delta 7.8\%$ でした。この差には、ファンドとベンチマークにおける債券組入銘柄の違い、為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主としてEMU参加国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年2月9日～2023年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 7	% 0.045	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.044)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	7	0.045	
期中の平均基準価額は、15,828円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2022年2月9日～2023年2月8日)

公社債

外 国	ユーロ		買 付 額	売 付 額
			千ユーロ	千ユーロ
	ドイツ	国債証券	11,869	5,858
	フランス	国債証券	14,025	7,911
	オランダ	国債証券	2,025	2,863
	スペイン	国債証券	8,876	5,373
	ベルギー	国債証券	783	3,479
	オーストリア	国債証券	492	1,474

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2022年2月9日～2023年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2023年2月8日現在)

## 外国公社債

## (A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末								
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満	
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%	%
ドイツ	22,200	22,669	3,185,237	25.1	—	20.4	3.6	1.1	
フランス	33,000	31,882	4,479,825	35.3	—	23.5	8.8	3.0	
オランダ	5,550	4,871	684,523	5.4	—	4.3	1.1	—	
スペイン	18,450	18,222	2,560,421	20.2	—	12.7	6.3	1.1	
ベルギー	7,100	6,823	958,736	7.5	—	5.7	1.9	—	
オーストリア	4,900	4,313	606,079	4.8	—	3.0	1.8	—	
合 計	91,200	88,782	12,474,824	98.2	—	69.5	23.5	5.2	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー第20期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日	
			利 率	額面金額	評 価 額			
					外貨建金額	邦貨換算金額		
			%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
ユーロ	ドイツ	国債証券	DBR 0.000 08/15/31	—	3,200	2,652	372,677	2031/8/15
			DBR 0.250 02/15/29	0.25	2,800	2,489	349,840	2029/2/15
			DBR 0.500 02/15/26	0.5	2,300	2,175	305,623	2026/2/15
			DBR 1.000 08/15/25	1.0	1,100	1,060	149,012	2025/8/15
			DBR 1.700 08/15/32	1.7	3,100	2,951	414,701	2032/8/15
			DBR 1.750 02/15/24	1.75	1,000	990	139,228	2024/2/15
			DBR 4.000 01/04/37	4.0	2,400	2,862	402,262	2037/1/4
			DBR 4.750 07/04/28	4.75	2,900	3,260	458,151	2028/7/4
		DBR 4.750 07/04/34	4.75	3,400	4,225	593,739	2034/7/4	
フランス	国債証券	FRTR 0.000 11/25/31	—	2,800	2,221	312,207	2031/11/25	
		FRTR 0.500 05/25/25	0.5	3,000	2,857	401,473	2025/5/25	
		FRTR 1.000 05/25/27	1.0	1,900	1,781	250,270	2027/5/25	
		FRTR 1.250 05/25/34	1.25	3,500	2,955	415,343	2034/5/25	
		FRTR 1.250 05/25/36	1.25	2,800	2,275	319,716	2036/5/25	
		FRTR 1.500 05/25/31	1.5	2,500	2,299	323,050	2031/5/25	
		FRTR 2.250 05/25/24	2.25	2,700	2,682	376,947	2024/5/25	
		FRTR 2.500 05/25/30	2.5	2,500	2,488	349,625	2030/5/25	
		FRTR 2.750 10/25/27	2.75	3,300	3,327	467,581	2027/10/25	
		FRTR 3.250 05/25/45	3.25	3,000	3,086	433,659	2045/5/25	
		FRTR 4.000 10/25/38	4.0	2,700	3,020	424,442	2038/10/25	
		FRTR 5.750 10/25/32	5.75	2,300	2,885	405,505	2032/10/25	
オランダ	国債証券	NETHER 0.000 07/15/31	—	500	405	57,023	2031/7/15	
		NETHER 0.250 07/15/29	0.25	500	434	61,104	2029/7/15	
		NETHER 0.500 01/15/40	0.5	1,500	1,075	151,087	2040/1/15	
		NETHER 0.750 07/15/27	0.75	1,100	1,022	143,634	2027/7/15	
		NETHER 2.500 01/15/33	2.5	1,950	1,933	271,673	2033/1/15	
スペイン	国債証券	SPGB 0.800 07/30/29	0.8	3,100	2,701	379,558	2029/7/30	
		SPGB 1.500 04/30/27	1.5	2,700	2,560	359,745	2027/4/30	
		SPGB 1.950 04/30/26	1.95	2,250	2,191	307,920	2026/4/30	
		SPGB 1.950 07/30/30	1.95	3,000	2,787	391,638	2030/7/30	
		SPGB 2.150 10/31/25	2.15	1,000	984	138,275	2025/10/31	
		SPGB 3.800 04/30/24	3.8	1,000	1,010	142,033	2024/4/30	
		SPGB 4.200 01/31/37	4.2	3,100	3,341	469,460	2037/1/31	
		SPGB 4.700 07/30/41	4.7	2,300	2,645	371,788	2041/7/30	
ベルギー	国債証券	BGB 0.800 06/22/25	0.8	500	479	67,392	2025/6/22	
		BGB 0.800 06/22/27	0.8	1,300	1,206	169,566	2027/6/22	
		BGB 0.900 06/22/29	0.9	1,400	1,262	177,365	2029/6/22	
		BGB 1.600 06/22/47	1.6	1,300	955	134,260	2047/6/22	
		BGB 3.000 06/22/34	3.0	1,000	1,000	140,573	2034/6/22	
		BGB 5.000 03/28/35	5.0	1,600	1,918	269,576	2035/3/28	
オーストリア	国債証券	RAGB 0.000 02/20/31	—	300	240	33,740	2031/2/20	
		RAGB 0.500 04/20/27	0.5	1,000	917	128,849	2027/4/20	
		RAGB 0.750 02/20/28	0.75	1,000	910	127,941	2028/2/20	
		RAGB 1.200 10/20/25	1.2	700	675	94,855	2025/10/20	
		RAGB 1.500 02/20/47	1.5	1,200	905	127,235	2047/2/20	

## しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 20 期 ー

銘 柄	当 期 末				償還年月日
	利 率	額面金額	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ	%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
オーストリア 国債証券 RAGB 2.400 05/23/34	2.4	700	665	93,456	2034/5/23
合 計				12,474,824	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

### ○投資信託財産の構成

(2023年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 12,474,824	% 98.2
コール・ローン等、その他	227,016	1.8
投資信託財産総額	12,701,840	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産（12,646,656千円）の投資信託財産総額（12,701,840千円）に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年2月8日現在、1ユーロ＝140.51円です。

しんきん欧州ソブリン債マザーファンド ー 第 20 期 ー

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月8日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	12,701,840,885	
コール・ローン等	87,070,949	
公社債(評価額)	12,474,824,137	
未収利息	122,330,582	
前払費用	17,615,217	
(B) 負債	3,886	
未払利息	6	
その他未払費用	3,880	
(C) 純資産総額(A-B)	12,701,836,999	
元本	8,441,728,106	
次期繰越損益金	4,260,108,893	
(D) 受益権総口数	8,441,728,106口	
1万口当たり基準価額(C/D)	15,046円	

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,608,222,112円、期中追加設定元本額は2,780,638,394円、期中一部解約元本額は1,947,132,400円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、欧州ソブリン債ポートフォリオ150,868,697円、欧米ソブリン債ポートフォリオ154,373,653円、しんきん3資産ファンド(毎月決算型)6,708,875,518円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)665,031,119円、しんきん世界アロケーションファンド262,539,892円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)133,285,774円、しんきん3資産ファンド(1年決算型)281,434,432円、しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)85,319,021円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.5046円です。

○損益の状況 (2022年2月9日~2023年2月8日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	257,634,912	
受取利息	257,697,295	
その他収益金	13,771	
支払利息	△ 76,154	
(B) 有価証券売買損益	△1,542,379,639	
売買益	856,170,178	
売買損	△2,398,549,817	
(C) 保管費用等	△ 5,623,281	
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,290,368,008	
(E) 前期繰越損益金	5,067,609,206	
(F) 追加信託差損益金	1,642,661,606	
(G) 解約差損益金	△1,159,793,911	
(H) 計(D+E+F+G)	4,260,108,893	
次期繰越損益金(H)	4,260,108,893	

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

# 運用報告書

## 親投資信託

# しんきん米国ソブリン債マザーファンド

第20期

(決算日：2023年2月8日)

しんきん米国ソブリン債マザーファンドの第20期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資します。 ②FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとします。 ③運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築を図ります。 ④外貨建資産の組入比率については原則として高位を保ちます。 ⑤外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑥市況動向あるいは資金動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。
主要投資対象	米国の国債、政府機関債および国際機関債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第1項第3号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ3第1項第7号および第8号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の5%以下とします。



○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	純総資産額
	期騰落	中率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	期騰落		
16期(2019年2月8日)	円	%	ポイント	%	%	百万円
	15,719	3.7	362.48	4.0	98.8	10,408
17期(2020年2月10日)	17,061	8.5	393.90	8.7	98.5	13,343
18期(2021年2月8日)	17,139	0.5	392.59	△0.3	98.6	12,510
19期(2022年2月8日)	18,027	5.2	415.21	5.8	98.5	12,921
20期(2023年2月8日)	18,693	3.7	433.40	4.4	98.6	12,701

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		債組入比率	券率
	騰落	率	FTSE米国 国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)	騰落		
(期首) 2022年2月8日	円	%	ポイント	%	%	
	18,027	—	415.21	—	98.5	
2月末	17,939	△0.5	415.25	0.0	98.9	
3月末	18,526	2.8	424.66	2.3	98.7	
4月末	19,028	5.6	445.12	7.2	98.6	
5月末	18,991	5.3	436.81	5.2	98.7	
6月末	19,851	10.1	457.96	10.3	98.6	
7月末	19,976	10.8	456.55	10.0	98.3	
8月末	20,081	11.4	461.89	11.2	98.9	
9月末	20,250	12.3	465.76	12.2	98.6	
10月末	20,438	13.4	471.63	13.6	98.2	
11月末	19,511	8.2	454.49	9.5	98.8	
12月末	18,675	3.6	426.66	2.8	97.9	
2023年1月末	18,739	3.9	431.95	4.0	97.9	
(期末) 2023年2月8日	18,693	3.7	433.40	4.4	98.6	

(注) 騰落率は期首比です。

- ※1 「FTSE米国国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスで、米国の国債で構成されています。
- ※2 「FTSE米国国債インデックス」は「FTSE世界国債インデックス」のサブ・インデックスです。
- ※3 「FTSE世界国債インデックス」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。
- ※4 上記指数は、FTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。同社は、当ファンドの運用成績などに関する一切の責任を負いません。

○第20期の運用経過等（2022年2月9日～2023年2月8日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとし、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資しています。

当期における基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦準備制度理事会（FRB）がインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで、米国金利が上昇する中、日米金利差の拡大を意識した米ドル買い円売りが優勢となり、米ドル高円安が進んだこと。

＜下落要因＞

- ・2022年3月以降、米連邦公開市場委員会（FOMC）において、継続的に利上げが決定されており、またその後もインフレ対策のために利上げを継続し、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いとFRB高官等が示唆していることを受けて、米国金利が上昇（債券価格は下落）したこと。

## ＜投資環境＞

### （米国国債市況）

当期初から金利は上昇傾向での推移が続いていたものの、2022年6月中旬から7月末にかけては、米経済指標が冴えない結果となったことで米景気減速懸念が高まり、金利が低下（債券価格は上昇）する局面がありました。8月以降は、インフレ高進を抑制するため、FRBが大幅な利上げを継続的に実施していることや、金利を高い水準でしばらく維持する可能性が高いと示唆されたことで、金利は再び上昇基調で推移しました。その後、11月の米消費者物価指数（CPI）が市場予想を下回ったことを受け、市場で利上げの停止が期待されていることや、11月のFOMC議事要旨にて、利上げペースの減速が適切との指摘が確認されたこと等を背景に、当期末にかけて金利は低下傾向で推移しました。

### （為替市況：米ドル円市場）

当期初から2022年10月ごろまでは、FRBがインフレ高進を抑制するため、大幅な利上げを継続的に実施していることで米国金利が上昇し、米ドル高円安基調で推移しました。11月以降の為替は、米CPIの結果を受けて米国国債金利が大きく低下したことや、日本銀行が長期金利の許容変動幅を±0.25%から±0.5%への拡大を決定したことを受けて、米ドル安円高が進みました。

## ＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期を通じて、米国国債等の組入比率を高位に保ち、FTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）をベンチマークとして、ポートフォリオを構築しています。

ベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）は、中立を基本としました。2023年2月8日現在におけるファンドの修正デュレーションは6.19年、時価最終利回りは4.11%となっています。また、ファンドの利回り向上を図るため、米国国債のほか、国際復興開発銀行（世界銀行：IBRD）、米州開発銀行（IADB）、アジア開発銀行（ADB）発行の債券を組み入れています。

## ＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は+3.7%となりました。ベンチマークであるFTSE米国国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率は+4.4%となっています。この差には、ファンドとベンチマークにおける組入銘柄の違い、債券および為替の評価タイミングのずれや、追加設定・解約による要因等が含まれています。

## ＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として米国の国債、政府機関債および国際機関債に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年2月9日～2023年2月8日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 5	% 0.024	(a)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	5	0.024	
期中の平均基準価額は、19,333円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○ 売買及び取引の状況

(2022年2月9日～2023年2月8日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	国債証券	千ドル 30,792	千ドル 33,231
		特殊債券	1,338	2,155

(注1) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切り捨て。

○ 利害関係人との取引状況等

(2022年2月9日～2023年2月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年2月8日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ドル	千ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	103,500	95,608	12,517,985	98.6	—	47.1	31.1	20.3
合 計	103,500	95,608	12,517,985	98.6	—	47.1	31.1	20.3

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切り捨て。

(注4) ー印は組み入れなし。

(注5) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

しんきん米国ソブリン債マザーファンド ー第20期ー

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	当 期 末				償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千ドル	千ドル	千円	
	国債証券					
	T-BOND 1.750 08/15/41	1.75	4,100	2,933	384,135	2041/8/15
	T-BOND 2.500 05/15/46	2.5	3,800	2,999	392,702	2046/5/15
	T-BOND 3.125 02/15/42	3.125	4,100	3,687	482,859	2042/2/15
	T-BOND 3.125 05/15/48	3.125	3,100	2,750	360,110	2048/5/15
	T-BOND 3.500 02/15/39	3.5	2,500	2,433	318,579	2039/2/15
	T-BOND 3.625 02/15/44	3.625	4,000	3,842	503,118	2044/2/15
	T-BOND 4.375 05/15/40	4.375	2,700	2,911	381,239	2040/5/15
	T-BOND 4.750 02/15/37	4.75	2,300	2,585	338,569	2037/2/15
	T-BOND 5.250 02/15/29	5.25	1,100	1,181	154,661	2029/2/15
	T-BOND 6.500 11/15/26	6.5	1,000	1,086	142,309	2026/11/15
	T-NOTE 0.625 08/15/30	0.625	1,400	1,122	146,970	2030/8/15
	T-NOTE 0.875 11/15/30	0.875	2,600	2,116	277,121	2030/11/15
	T-NOTE 1.125 01/15/25	1.125	4,000	3,751	491,192	2025/1/15
	T-NOTE 1.250 08/15/31	1.25	2,700	2,232	292,240	2031/8/15
	T-NOTE 1.375 11/15/31	1.375	2,500	2,075	271,782	2031/11/15
	T-NOTE 1.500 02/15/30	1.5	1,900	1,644	215,368	2030/2/15
	T-NOTE 1.625 02/15/26	1.625	2,900	2,696	353,014	2026/2/15
	T-NOTE 1.625 05/15/26	1.625	3,700	3,425	448,562	2026/5/15
	T-NOTE 1.625 08/15/29	1.625	500	439	57,558	2029/8/15
	T-NOTE 2.000 08/15/25	2.0	4,900	4,638	607,348	2025/8/15
	T-NOTE 2.250 11/15/25	2.25	3,500	3,326	435,539	2025/11/15
	T-NOTE 2.250 11/15/27	2.25	2,100	1,952	255,631	2027/11/15
	T-NOTE 2.375 08/15/24	2.375	3,900	3,764	492,934	2024/8/15
	T-NOTE 2.500 05/15/24	2.5	3,900	3,786	495,786	2024/5/15
	T-NOTE 2.625 01/31/26	2.625	4,000	3,837	502,382	2026/1/31
	T-NOTE 2.625 02/15/29	2.625	2,900	2,713	355,342	2029/2/15
	T-NOTE 2.750 02/15/24	2.75	5,300	5,187	679,210	2024/2/15
	T-NOTE 2.875 05/31/25	2.875	5,100	4,937	646,484	2025/5/31
	T-NOTE 3.125 11/15/28	3.125	3,500	3,372	441,517	2028/11/15
	特殊債券 (除く金融債)					
	ASIA 1.875 01/24/30	1.875	5,300	4,635	606,958	2030/1/24
	IADB 2.125 01/15/25	2.125	3,400	3,247	425,160	2025/1/15
	IBRD 0.750 11/24/27	0.75	2,200	1,889	247,443	2027/11/24
	IBRD 1.875 10/27/26	1.875	2,600	2,399	314,147	2026/10/27
合	計				12,517,985	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年2月8日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	12,517,985	98.6
コール・ローン等、その他	183,019	1.4
投資信託財産総額	12,701,004	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(12,646,842千円)の投資信託財産総額(12,701,004千円)に対する比率は99.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2023年2月8日現在、1ドル=130.93円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年2月8日現在)

○損益の状況 (2022年2月9日~2023年2月8日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	12,701,004,634
コール・ローン等	77,900,360
公社債(評価額)	12,517,985,044
未収利息	93,649,822
前払費用	11,469,408
(B) 負債	3,972
未払利息	6
その他未払費用	3,966
(C) 純資産総額(A-B)	12,701,000,662
元本	6,794,667,025
次期繰越損益金	5,906,333,637
(D) 受益権総口数	6,794,667,025口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,693円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	326,791,615
受取利息	326,858,407
支払利息	△ 66,792
(B) 有価証券売買損益	162,653,149
売買益	1,702,572,756
売買損	△1,539,919,607
(C) 保管費用等	△ 3,159,538
(D) 当期損益金(A+B+C)	486,285,226
(E) 前期繰越損益金	5,753,778,482
(F) 追加信託差損益金	1,736,095,138
(G) 解約差損益金	△2,069,825,209
(H) 計(D+E+F+G)	5,906,333,637
次期繰越損益金(H)	5,906,333,637

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,167,983,678円、期中追加設定元本額は1,845,304,862円、期中一部解約元本額は2,218,621,515円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額は、米国ソブリン債ポートフォリオ160,384,935円、欧米ソブリン債ポートフォリオ127,842,906円、しんきん3資産ファンド(毎月決算型)5,354,587,005円、しんきんグローバル6資産ファンド(毎月決算型)536,363,834円、しんきん世界アロケーションファンド211,748,127円、しんきん世界アロケーションファンド(積極型)106,913,397円、しんきん3資産ファンド(1年決算型)227,915,544円、しんきんグローバル6資産ファンド(1年決算型)68,911,277円です。

(注3) 1口当たり純資産額は1.8693円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。